

高齢者の色彩と図柄の好み(6)－地域別特性－

伊藤紀之* ○橘 喬子** 小菅啓子*³ 田岡洋子*⁴ 吉田千恵子*⁵佐々木由美子*⁵ 小沢直子*(*共立女大 **夙川学院短大 *³元山梨県立女短大 *⁴京都短大 *⁵昭和学院短大)

目的 本報では地域別に色別(赤、黄、緑、青、紫)の図柄の好みを分析し、その特性を検討し、問題を提起する。

方法 対象(フェイスシート)、試料、質問、場所は(4)(5)と同様。東北・北海道 216 名、関東甲信越(除く東京)541 名、東京 405 名、関西(中部以西)814 名について、地域別の色彩と図柄の嗜好率と相関、クロス集計からその特性を分析した。

結果 S柄(青海波柄)とP柄(木の葉柄)の具象文様は、地域別・色別に関係なく好感度が高いが、幾何学文様のA, X, B, G, Y柄は全体的に好感度が低い。東北・北海道ではB柄(細い格子柄)は赤色以外全く好まれておらず、A柄(三角形柄)は緑色では全く好まれていない。その他の地域では、嗜好率に差はあるが、各色共に全ての柄が出現している。上位のS柄(青海波柄)において、東北・北海道は赤と緑色、関東甲信越は赤と紫色、東京は紫と青色、関西は赤と紫色で嗜好率が非常に高く、色彩による地域差が見られる。関東甲信越(除く東京)と関西は緑色と紫色の 25 の図柄において相関が 0.9 以上と非常に高い値を示している。高齢者の図柄の好みは古典的な図柄や自然の具象文様、縞柄、千鳥格子など、服装の図柄からのイメージが好まれている要素が大きく、また地色と図柄の面積比や、色の明視性にも関係していると思われる。また図柄の地域別特性は色彩感情のもつ意味が影響していると考えられる。